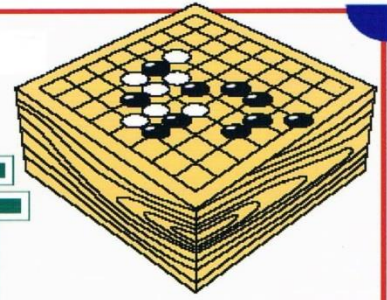


会報 第29号 平成29年2月28日

栄区囲碁ファンにおくる囲碁情報紙

さかえの石音

いしおと



栄区囲碁普及会・栄区囲碁連盟・日本棋院横浜栄支部・楽碁会

華やかに！「第10回地域交流囲碁大会」

平成29年の幕開けを飾った同大会は、楽碁会豊田部会と囲碁普及会本中・本郷教室から初参加があり賑やかに開催された。

24組、135名がA、Bブロックに分かれ、例年通り団体戦(5人編成)・4局が繰り広げられた。



懇親会で喜びの優勝チーム：左<Aブロック>、右<Bブロック>

<Aブロック>	成績	入賞
本郷台囲碁クラブF	4勝0敗	優勝
楽碁会本郷部会A	2勝2敗	
大船パークタウン囲碁クラブ	1勝3敗	
東武本郷台囲碁愛好会	0勝4敗	
いの山プラチナ会囲碁クラブ	2勝2敗	
湘南桂台囲碁愛好会A	3勝1敗	準優勝
上之町囲碁クラブ	2勝2敗	
湘南ハイツみどり会	3勝1敗	第三位
尾月自治会囲碁部	2勝2敗	
桂台自治会囲碁クラブA	1勝3敗	
栄碁クラブA	1勝3敗	
棋楽会S	3勝1敗	敢闘賞

<Bブロック>	成績	入賞
湘南桂台囲碁愛好会B	4勝0敗	優勝
桂台自治会囲碁クラブB	1勝3敗	
栄碁クラブB	3勝1敗	準優勝
楽碁会上郷部会	2勝2敗	
本郷台囲碁クラブM	2勝2敗	
緑石会	3勝1敗	第三位
本中・本郷日曜教室	2勝2敗	
上郷金	2勝2敗	敢闘賞
野七里囲碁クラブ	2勝2敗	
豊田・連盟混成チーム	1勝3敗	
棋楽会N	1勝3敗	
楽碁会本郷部会B	1勝3敗	

個人全勝者：肥塚六段、重光六段、計倉六段、竹内五段、安積五段、宇野四段、荻田四段
(敬称略) 荒井三段、木村三段、清水二段、石橋二段、田島初段、大場初段



3部屋に分かれての熱戦、女性(初段)も3人が参加

懇親会、交流も和やかに遅くまで囲碁談義が続いた！

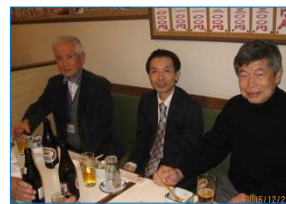
4人の初段者を輩出！ 第18回 段・級位認定大会

主催 日本棋院横浜栄支部 後援 日本棋院 協力 栄区囲碁普及会、楽碁会 (H28-12-23)

「あーすぷらざ」に黒瀧正憲八段、有村比呂司八段を招聘し、あこがれの初段を目指す人、他の多くの囲碁ファンは両プロによる指導・大盤解説にと終日囲碁を満喫し、懇親会も大盛り上がりであった。



認定会場の1コマ



子供も女性も



指導碁



黒瀧八段（6面打ち）

有村八段（6面打ち）



有村八段を囲んでランチ



有村八段による大盤解説



★おめでとうございます！ 初段獲得者：仲西聡夫氏、須江有道氏、本間勲弘氏、諸星剛一氏（順不同）

【短信Ⅰ】日本棋院横浜栄支部が、3月24日（金）市ヶ谷の日本棋院東京本院にて行われる「関東甲信越静地区代表者懇談会」で本年も優秀支部として表彰される事となり、さらに、本部又は支部連合会からの推薦を受けた個人の表彰制度があり、田中建一氏（副支部長）が普及活動賞を受ける事となった。

【短信Ⅱ】日本棋院横浜栄支部「創立10周年記念事業」について、佐野支部長より「具体的実施内容が決まり次第発表します」との報告があった。

栄区囲碁4団体の概要と活動が「碁ワールド2月号・日本棋院支部と会員のコーナー」に紹介されています。是非ご覧下さい。
本郷地区センター2階ロビーの棚に1冊保管中



第5回「学校囲碁指導員」講習会開催！

日本棋院主催で行われている学校囲碁指導員講習会は、「青少年健全育成の一環として“囲碁”を通じて子供たちの知識・好奇心を養い、生きる力を育む」ことを目的とし、その良き指導者を確保する為に実施されています。

今回、2月25日に「あーすぷらざ」にて黒瀧正憲八段を講師に招き、講習会が実施されました。参加人数は合計37名（内栄区囲碁普及会々員22名）と大盛況の下実施されました。黒瀧八段からは、

- 教え過ぎない事
- 子供に分かり易い言葉で教える事
例えば「生きている石」⇒「絶対取られない石」、パスは打って得する所が無い時にする等
- 目標は、9路盤での自力終局。対局は黑白2子ずつ3々に置いた状態（決め打ち方式）からスタートさせるのが上達の早道等々、実際の子供指導に役立つ有意義な話を多く聞くことができました。

栄区囲碁普及会 創立 15 周年記念「囲碁川柳」優秀作品が決定！！！！

投稿作品数は 283 句の多数となった。優秀作品の選考については当囲碁普及会の役員、幹事等 20 名の投票により、得票数の順位で、右に掲げた 12 作品が「秀逸作品」として選考された。このほか「佳作作品」28 句、及び「ジュニア賞」2 句が選考された。

表彰式は「修了式」にて行います。また「句集」として全作品に作者名を付して発刊すべく準備中。この中に選考経過等を掲載する予定。



「予想外に沢山の応募を頂き、関係者一同大いに感激いたしました。

選外となった句の中にも川柳の心を感じさせる作品が少なくないので、作者の方々はこれを機会に是非精進されることを期待しています。」

(選考委員長 中村光良)



「この句は、教室で碁敵である低学年の子供と対戦していた時のことを詠みました。

負けたという虚脱感と、石を置いた時の“にっこりした顔”と“小さな手”が印象的でした。」(國吉秀明)

・ 勝碁だけ碁敵称える小者ぶり
 ・ 対局が口で始まるへボ仲間
 ・ モノクロのアートを描く盤の上
 ・ あっ負けた盤の向こうに小さな手
 ・ あと一歩その「あと一歩」で五年過ぎ
 ・ 楽しみは酒囲碁散歩の粗大ゴミ
 ・ 盆近し孫を待ちつつ石がぐ
 ・ 長考に不思議顔することも棋士
 ・ ママとぼくケンカしながら囲碁を打つ
 ・ 女房に勝った碁のみを報告し
 ・ 十五年弥栄(いやさか)を期す普及会
 ・ 週四日囲碁に通えば妻笑顔

青井茂樹
 中村光良
 松浦一
 國吉秀明
 三浦榮一
 中西和豊
 銚碯宗夫
 中村光良
 松浦一
 堀田昭司
 牧野貞夫
 岡田克司

「創立 30 周年記念イベント」について

栄区囲碁連盟会長 三間修司



栄区発足と同時に設立された“栄区囲碁連盟”は 30 周年を迎えました。この間会員の皆様の絶大なるご協力、ご支援のもとに 150 名の会員となり隆盛の一途をたどって来ました。そこで本年 6 月に予定している“第 18 回総会兼会員の為の囲碁大会”にて皆様に報いるべく

記念イベントを催す予定です。

イベントとしてはやはりプロ棋士の招聘による大盤解説や指導対局が中心となります。毎年秋の“芸術祭囲碁まつり”では熊六段と女流棋士に来て頂いていますが今回は記念イベントなので別の棋士を招聘する事にしています。今のところ皆様良くご存じの蘇耀国九段と長島梢恵二段のお二人を予定しております。具体的日程やイベント内容についても未定ですが会員の皆様に満足いただけるものになりたい考えです。

第 2 回 神奈川県囲碁まつり (日本棋院ファン感謝デー)

日時：2017 年 4 月 16 日 9:30~10:00 受付

場所：横浜会場：宇宙棋院<先着 120 名>

参加費：日本棋院会員 2000 円非会員 3000 円

学生以下 500 円引き ◆昼食・参加賞付き
 クラス分け：A (初段~五段) B (1~5 級) C (6~20 級；21 級以下の方も 20 級で参加可能)

試合方法：A~C クラスはハンデイ戦

賞：各クラス 3 位まで、その他 3 勝賞など

申込み：日本棋院 神奈川県本部 (大森広文)

☎090-6513-7096 fAX:044-330-0315

e-mail:ciel.1218@gmail.com

(問合せ先も)

締切：4 月 2 日

【お知らせ】栄区囲碁普及会のホームページ (HP) をご覧ください。昨年からの囲碁普及会のみならず栄区囲碁連盟、日本棋院横浜栄支部、楽碁会のイベント案内など情報が満載です。

<http://www.igosakae.jp>

◆ 笑顔のなかで、真剣に

2017 栄基会囲碁大会

本年も本郷部会（2月4日）、豊田部会（2月15日）の囲碁大会が開催され両大会合わせ100名を超す盛況であった。上郷部会は3月を予定。



クラス別優勝者（左から石田、植田、坂田の各氏）

本郷部会・大会（参加者 60名）

	優勝	準優勝	第3位
A	植田米男	八坂幸彦	藤田 剛
B	牧野 博	小林 勇	武田和久
C	鈴木悦四	萩尾幸子	仲西聡夫
D	真鍋和彦	大塚光章	石川 務
E	石田郁夫	角田定夫	渡辺徹也

豊田部会（参加者 46名）

	優勝	準優勝	第3位
A	糸山 悟	捧 武治	西田達平
B	坂田保夫	小田武史	三村道夫
C	成田直輝	鎌倉茂生	今井憲三
D	小池 輝	松浦 進	市川邦二
E	鶏内成太郎	蒲生 仁	池田三男
F	谷 昇	柴 忠晴	池田洋子

読んでみませんか！



囲碁小説「幻庵」(げんなん)

文芸春秋社刊・上下巻各1600円+税

作者の百田尚樹氏は無類の囲碁好きで知られています。この小説は週刊文春に掲載されていましたが昨年末完了。幻庵の到達した勝負哲学「勝敗を決するのは△△ではなく〇〇である」を予測しながら読むのも楽しいかもしれません。編集委員 宮川誠



碁界ニュース 期待の若手棋士

名人戦や本因坊戦のリーグ入り、タイトル戦の挑戦などこのところ若手棋士の台頭が目覚ましい。最年少記録を塗り替え竜星のタイトルを取った一力遼七段（19歳）、初出場で新人王に輝いた大西竜平二段（17歳）、女流棋聖戦挑戦者の牛栄子初段（17歳）、女流本因坊返り咲きの藤沢里菜三段（18歳）、その他芝野虎丸三段（17歳）、上野愛咲美初段（15歳）など活躍が期待される。

日本棋院・普及指導員 道休俊和

◆ 2017年度（上期）栄区囲碁カレンダー

月	日	行事	
4	1	上達コース開講式	※1
4	2	入門初級コース開講式	※1
5	13	本郷地区センターまつり	※5
5	14	本郷地区センターまつり	
5	20	上達コース認定会	※1
5	20	栄区囲碁普及会総会	※1
5	28	入門初級コース認定会	※1
6	4	日本棋院認定会	※2
6	18	横浜市囲碁級位認定会	※4
6	25	栄区囲碁連盟総会・会員大会	※3
7	16	入門初級コース認定会	※1
7	30	栄こどもとおとなの囲碁大会	※1
7	未	地区センター親子囲碁教室	※6
8	18	豊田小はまっ子囲碁教室	※7
8	26	上達コース認定会	※1
9	3	栄区民秋季囲碁大会	※3
9	9	上郷地区センターまつり	※5
9	10	上郷地区センターまつり	
9	18	囲碁フェスタさかえ	※2
9	24	入門初級コース認定会	※1

- ※1 栄区囲碁普及会
- ※2 日本棋院横浜栄支部
- ※3 栄区囲碁連盟
- ※4 横浜市囲碁連合会
- ※5 センターまつりに普及会が囲碁コーナーを設営
- ※6 3地区センター・栄区囲碁普及会共催
- ※7 豊田小はまっ子・栄区囲碁普及会共催

【編集後記】

全日本囲碁協会は「囲碁を小中学校の正課に」を展開しており、11万人以上の署名をもって文部科学大臣に陳情、横浜市でも市長へ日本棋院・平野理事が要望書を持って陳情と漏れ聞く。大学では正課に取り入れる学校が増え現在35校になると云う。東京都でも授業に取り入れている区があることはご存じの通りである。栄区も多くの会員が小中学校への囲碁普及活動をこの15年間実践している。やがてこの活動が横浜市に「囲碁を小中学校の正課に」の先駆けとなることを願ひこれからも積極的活動を続けたいと思う。そしてこれら活動には個々の健康とお互いの協調が欠かせないもの、お互い健康に注意し前を向いて進みましょう。

- ◆編集委員：道休俊和、渡辺紘、佐藤中勇 宮川誠
山中正巳、興野富男、小田武史
- ◆発行者：牧野博（栄区囲碁普及会々長）